

年頭挨拶

新年明けましておめでとうございます。

八戸海上保安部ホームページをご覧いただきありがとうございます。保安部を代表して新年の挨拶を申し上げます。

昨年は、リーマンショック以来の経済不況、雇用不安が続く中、尖閣での中国漁船の巡視船への衝突事案、北朝鮮のヨンピョンド島砲撃などにより国際情勢も緊迫し、一昨年に続き激動な一年であり、この先が見通しにくい状況であります。

しかし、地元八戸・青森では新幹線が新青森まで延伸され、B級グルメなどを含めて全国的にも青森・八戸の知名度が上がった年でありました。八戸港においては一昨年港湾計画が改訂され、また、昨年は港湾整備の重点港湾の一つとして指定され、今後LNG輸入基地建設が本格化することとなり、さらに、コンテナ取扱量も4万5千TEUを超え、ハサップ対応型魚市場施設建設が進むなど、更なる発展が期待されるところです。

このような八戸にあって、八戸海上保安部は、青森県東部と岩手県北部の広い海域における「海洋の秩序維持」「海難の救助」「海上防災及び海洋環境の保全」「海上交通の安全確保」などを使命とし、日夜たゆまず活動しています。

昨年、八戸海上保安部では、50年前の昭和35年チリ地震津波の被害写真が見つかったとの地元紙での報道がきっかけで、5月にマリエントでの写真展を関係者とともに開催いたしました。2月28日に同じチリ沿岸部を震源とする地震津波が発生したため、さらに関心が高まり、多くの人に写真展を見ていただき、防災意識の高揚に繋がったものと考えています。

また、7月12日に、海保のマスコットキャラクターである「うみまる・うーみん」のご当地バージョン「えんぶりバージョン」の市長への作成報告とご披露を行うことができ(8/26には県知事)、地域に密着した海保の存在を示すことができたとともに、全国に「八戸、えんぶり、三社大祭」を知ってもらうことに寄与できたものと思います。

さらに、8月には久慈港での巡視船くりこまの体験航海・一般公開を行うなど、多くの市民の方々に「海」や「海保」について身近に感じ、理解してもらうよう努めました。

管内における事件や事故については、地元自治体をはじめ海事・漁業・港湾工事等関係者の日頃からのご努力によるほか、漁協女性部の方々をLGL(ライフガードレディス:救命胴衣着用推進員)に委嘱しての推進活動などの効果もあって、多数の死者行方不明者を伴うような大きな事件事故もなく一年を終えることができました。

新年を迎え、当保安部職員一同は、今後とも皆様のニーズや情報を的確にとらえ、事案に適時適切に対応し、皆様に信頼される組織となるべく努力をする決意を新たにいたしました。

今年も皆様の安全、安心のため努力するとともに、そのための情報や「海」や「海保」についての情報を発信いたしますので、今後とも当保安部の業務に対してご理解とご支援をお願い申し上げます。また、今年も各種イベントなどを企画し、地域の方々に楽しんでいただけるようすると

ともに、施設見学や出前講座などの要望があれば可能な限り対応しますので、問い合わせいただければ幸いです。

ところで、皆様にお知らせとお願いがあります。警察や消防への通報は「110番」「119番」ということは皆様ご存知かと思いますが、海で何かあった時に海上保安庁に通報するには「118番」となっております。ついては、海上保安庁では今年から1月18日を「118番の日」と制定しましたので、『海のもしもは118番』と覚えていただけるようお願いいたします。

最後に、地元八戸では今年ポータルミュージアム「はっち」や是川縄文館が開館予定であり、ハサップ対応型魚市場荷捌き施設A・B棟が完成供用開始予定であります。このことが地域の更なる発展に繋がることを願うとともに、今年一年の地域及び皆様方の安寧と発展を祈念しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成23年 正月

八戸海上保安部長 檜原 義 則

うみまる、うーみん
八戸：えんぶりバージョン



海の「もしも」は118番